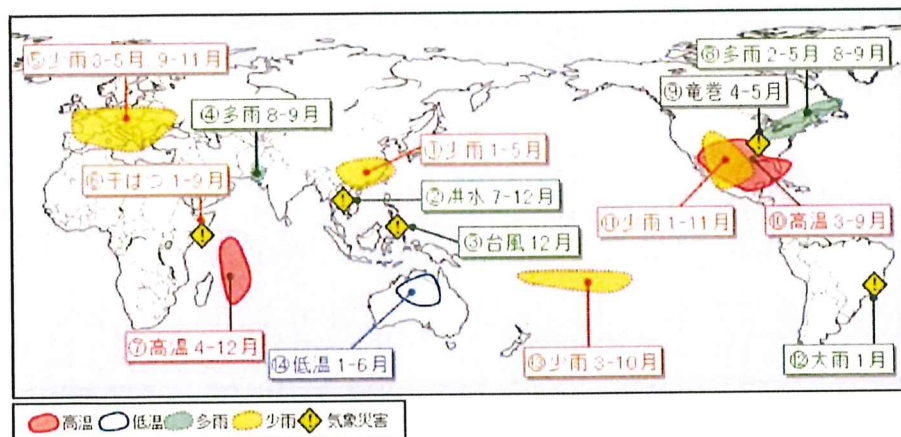


世界の年ごとの異常気象 対象期間： 2011年 ▼

主な天候の特徴・気象災害



世界の異常気象

- [前年へ](#)
- [過去10年の異常気象](#)
- [月ごとの異常気象](#)
- [季節ごとの異常気象](#)
- [年ごとの異常気象](#)
- [異常気象の発生回数](#)
- [異常気象の事例](#)

関連図表【年】

異常気象図表

- [異常高温・低温出現頻度](#)
- [異常多雨・少雨出現頻度](#)

世界の天候図表

- [平均気温・降水量](#)
- [降水量年比](#)

概況

年平均気温は、シベリア～ヨーロッパ西部、北米東部～中米北部などで平年より高く、モンゴル～中央アジア、インドシナ半島及びその周辺、北米西部、オーストラリア北部などで平年より低くなった。米国南部及びその周辺で異常高温となる月が多かったが、オーストラリア北部では異常低温となる月が多かった。年降水量は、フィリピン～インドシナ半島、パキスタン南部及びその周辺、米国北東部及びその周辺、南米北部、オーストラリアなどで平年より多く、中国南部、サウジアラビア、ヨーロッパ、米国南部～メキシコ北部、ポリネシア中部などで平年より少なかった。米国北東部及びその周辺は異常多雨となる月が多く、ヨーロッパ、米国南部～メキシコ北部、ポリネシア中部は異常少雨となる月が多かった。2011年に発生した主な異常気象・気象災害は以下のとおり。気象災害の記述は米国国際開発庁海外災害援助局とルーベンカトリック大学災害疫学研究所（ベルギー）の災害データベース（EM-DAT）や、国連の報道機関（IRIN）、各国の政府機関の発表等に基づいている。

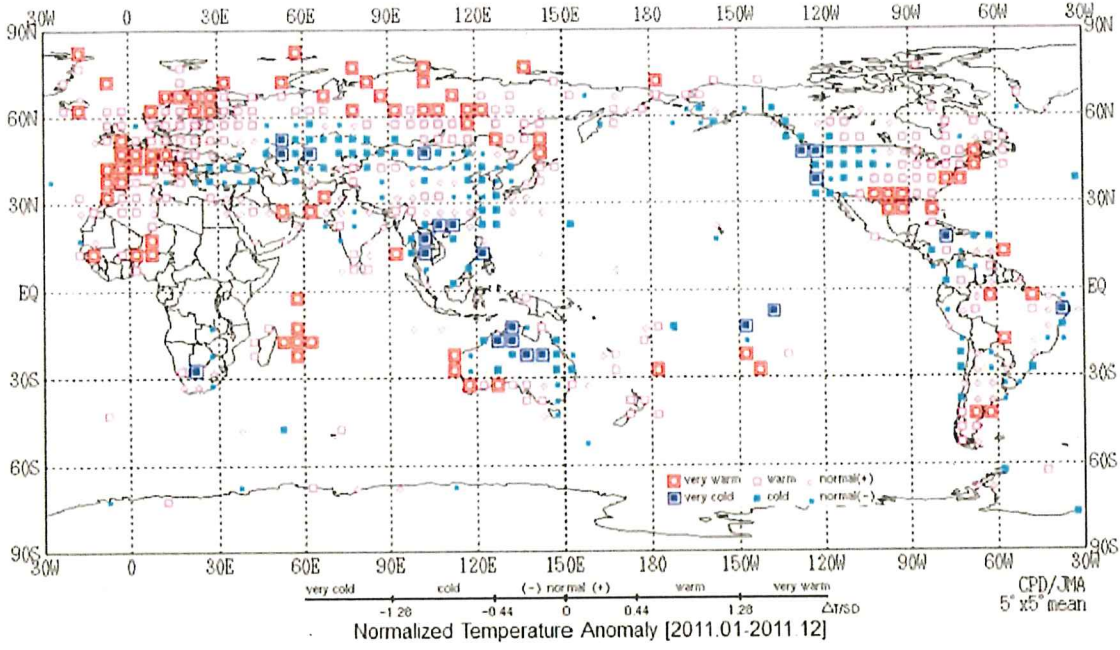
| 異常気象 | 発生地域 | 概要 |
|-------------------|--------------|--|
| 1 少雨 (1～5月) | 中国南東部 | <ul style="list-style-type: none"> 中国南東部では、1月から5月にかけて、異常少雨となった。 シャンハイ（上海）：1～5月の5か月間降水量143mm（平年比37%）。 |
| 2 洪水 (7～12月) | インドシナ半島 | <ul style="list-style-type: none"> インドシナ半島では、雨季を通して平年より雨の多い状況が続いた。 5～10月の6か月間降水量は、タイ北部のチェンマイで1284mm（平年比133%）、タイの首都バンコクで1910mm（同133%）、ラオスの首都ビエンチャンで2080mm（同141%）になるなど、インドシナ半島のほとんどの地点で平年の約1.1倍から1.7倍の雨となった。 7月以降、チャオプラーヤ川やメコン川の流域で洪水が発生し、タイでは700人以上、カンボジアでは240人以上、ベトナムでは40人以上が死亡した、と伝えられた。 |
| 3 台風 (12月) | フィリピン | <ul style="list-style-type: none"> フィリピンでは、ミンダナオ島を通過した台風第21号により、1200人以上が死亡した、と伝えられた。 |
| 4 多雨 (8～9月) | パキスタン南部 | <ul style="list-style-type: none"> パキスタン南部は8月末から9月前半にかけて大雨で、9月は異常多雨となった。 シンド州のカラチ国際空港：9月の月降水量213mm（平年比2068%）。 シンド州全体では、洪水により480人以上が死亡した、と伝えられた。 |
| 5 少雨 (3～5月、9～11月) | ヨーロッパ | <ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパでは、3月から5月と9月から11月に異常少雨となった。 フランスのパリ/オルリー空港：3～5月の3か月間降水量23mm（平年比16%）。 ポーランドの首都ワルシャワ：9～11月の3か月間降水量10mm（平年比13%）。 |
| 6 下ばつ (1～9月) | アフリカ東部 | <ul style="list-style-type: none"> ソマリアなどアフリカ東部では、この60年で最悪の下ばつで1千万人以上が影響を受けている、と伝えられた。 |
| 7 高温 (4～12月) | セイシェル～モーリシャス | <ul style="list-style-type: none"> セイシェルからモーリシャスでは、4月から12月にかけてたびたび異常高温となった。 セイシェル国際空港：7月の月平均気温27.2℃（平年差+1.1℃）。 |
| 8 多雨 (2～5月、8～9月) | 米国北東部及びその周辺 | <ul style="list-style-type: none"> 米国北東部及びその周辺では、2～5月は低気圧や前線の影響を受け、また、8～9月は低気圧や前線にくわえハリケーン「アイリーン」の影響を受け、それぞれ異常多雨となった。 米国オハイオ州ヤングスタウン：2～5月の4か月間降水量645mm（平年比210%）。 米国ペンシルベニア州アレタウン：8～9月の2か月間降水量672mm（平年比311%）。 |
| 9 竜巻 (4～5月) | 米国南東部・中部 | <ul style="list-style-type: none"> 米国南東部では、4月下旬に300個以上の竜巻が発生し、350人以上が死亡したと伝えられた。 米国ミズーリ州ジョプリンを、5月22日に強い竜巻（EF-5）が襲い、単一の竜巻としては1950年の統計開始以降で最多となる150人以上が死亡したと伝えられた。 |
| 10 高温 (3～9月) | 米国南部及びその周辺 | <ul style="list-style-type: none"> 米国テキサス州オースティン：3～5月の3か月平均気温23.1℃（平年差+2.8℃）、6～8月の3か月平均気温31.9℃（平年差+3.3℃）。 米国南部ではテキサス州などで1895年以降で最も暑い夏になったと伝えられた。 |
| 11 少雨 (1～11月) | 米国南部～メキシコ北部 | <ul style="list-style-type: none"> 米国テキサス州アマリロ国際空港：1～11月の総降水量143mm（平年比28%）。 メキシコのサカテカス州サカテカス：1～11月の総降水量173mm（平年比33%）。 6月には、米国南部や西部で複数の大規模な森林火災が発生し、アリゾナ州ではアリゾナ史上最大の森林火災が発生した、と伝えられた。 11月にはメキシコ北部で深刻な下ばつが発生し、約250万人もの飲み水に影響を及ぼしている、と伝えられた。 |

2020/5/10

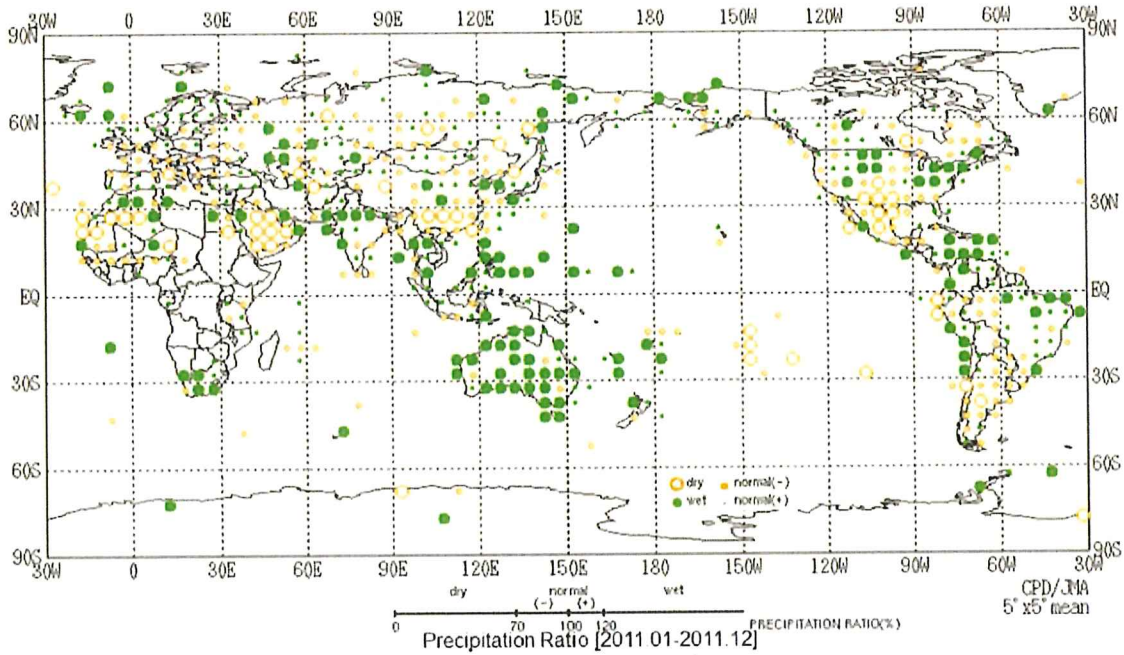
気象庁 | 世界の年ごとの異常気象

| | | |
|---------------|-----------|--|
| 12 大雨 (1月) | ブラジル南東部 | <ul style="list-style-type: none">• リオデジャネイロ州では、1月中旬、山間部を中心に集中豪雨に見舞われ、洪水や地滑りによる被害が発生したと伝えられた。このため、800人以上が死亡したと伝えられた。• リオデジャネイロ州ノバフリブルゴでは、1月11～12日の2日間降水量が270mmに達した。• タセチ島/フェアア：3～10月の総降水量309mm（年平均比40%）。• 9月には、ツバルやトケラウ諸島の人々が、水不足による被害を受けていると伝えられた。• オーストラリア北部では、1月から6月にかけて、南からの寒気の影響でたびたび異常低温となった。• オーストラリア北部のマウントアイサ：5月の月平均気温17.6℃（年平均-3.5℃）。 |
| 13 少雨 (3～10月) | ポリネシア中部 | |
| 14 低温 (1～6月) | オーストラリア北部 | |

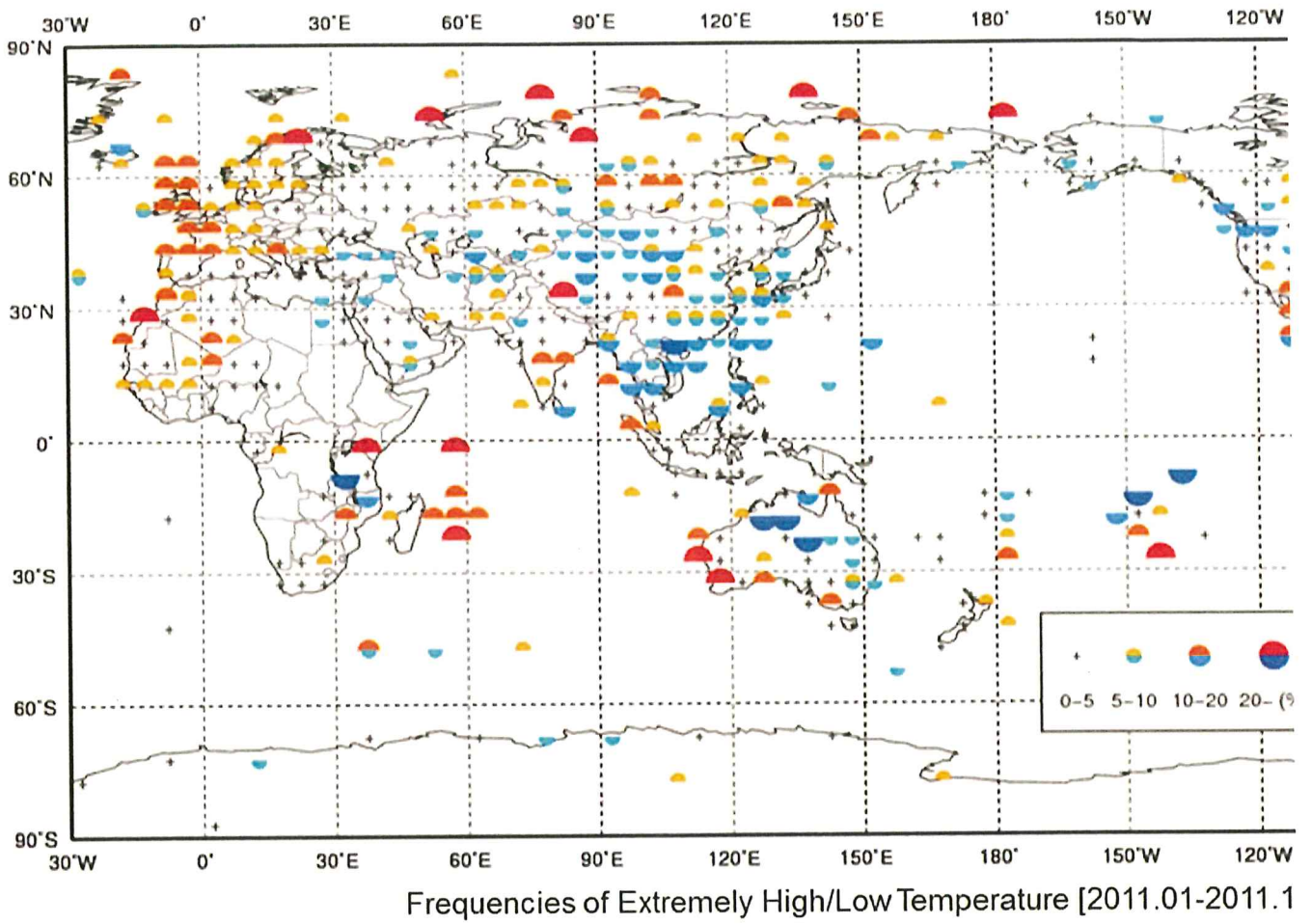
各種図表



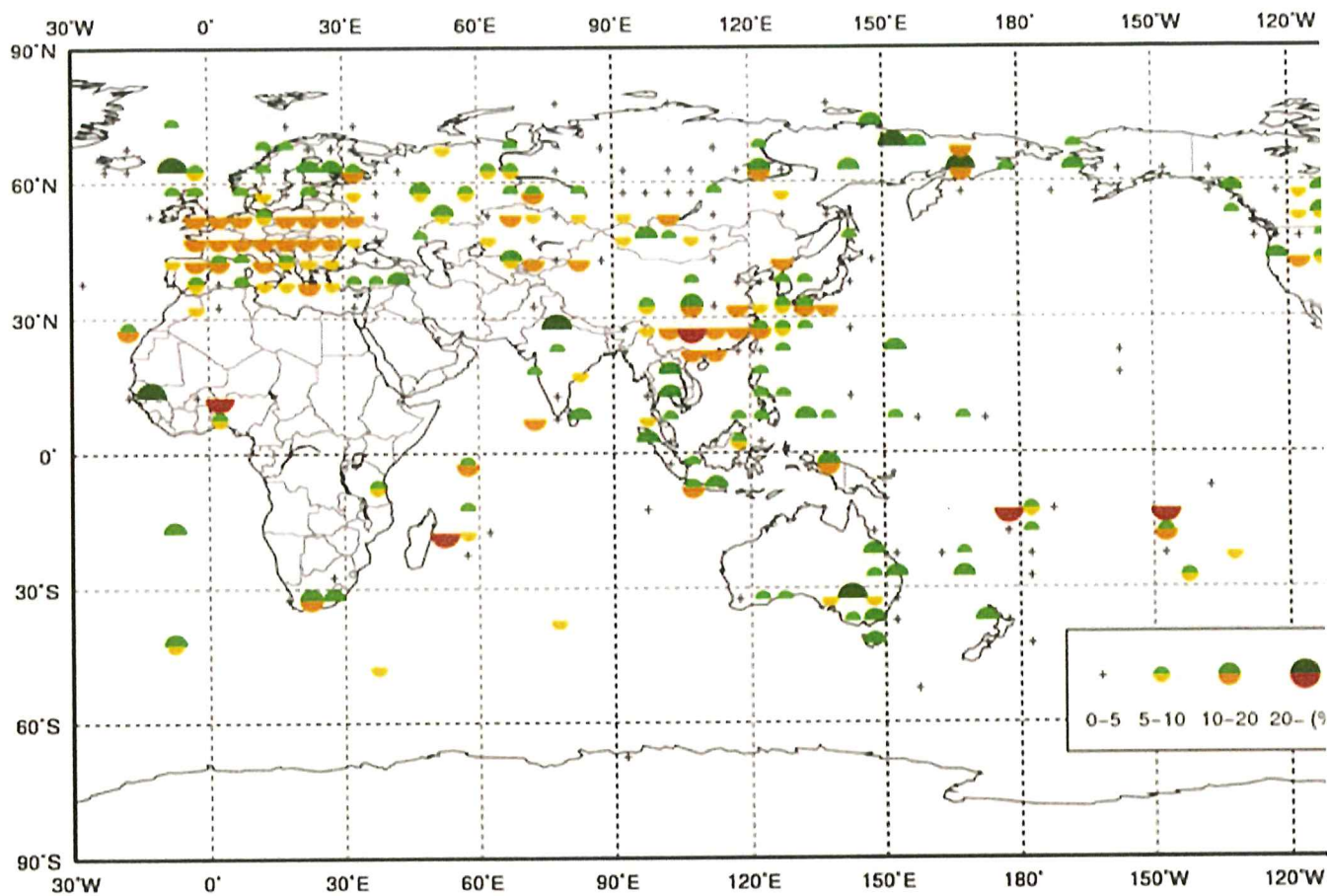
年平均気温偏差規格化階級分布図



年降水量平年比階級分布図



異常高温・異常低温出現頻度分布図



Frequencies of Extremely High/Low Precipitation [2011.01-2011.1:

異常多雨・異常少雨出現頻度分布図